

千葉市感染症発生動向調査情報

2018年 第32週 (8/6-8/12) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	32週	31週	30週	29週
小児科	16	18	18	18
眼科	4	5	5	5
インフルエンザ*	20	27	27	27
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数
「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	8/6-8/12	7/30-8/5	7/23-7/29	7/16-7/22	7/30-8/5
			32週	31週	30週	29週	31週
小児科	RSウイルス感染症	↓	7 0.44	15 0.83	21 1.17	19 1.06	144 1.07
	咽頭結膜熱	↓	8 0.50	14 0.78	23 1.28	12 0.67	123 0.91
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		13 0.81	30 1.67	42 2.33	33 1.83	229 1.70
	感染性胃腸炎		33 2.06	68 3.78	88 4.89	58 3.22	412 3.05
	水痘		0 0.00	6 0.33	1 0.06	4 0.22	39 0.29
	手足口病		15 0.94	28 1.56	20 1.11	20 1.11	182 1.35
	伝染性紅斑		2 0.13	2 0.11	1 0.06	2 0.11	42 0.31
	突発性発しん		10 0.63	13 0.72	6 0.33	6 0.33	59 0.44
	ヘルパンギーナ	↓	47 2.94	79 4.39	75 4.17	61 3.39	457 3.39
	流行性耳下腺炎		1 0.06	2 0.11	2 0.11	3 0.17	10 0.07
インフル	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	1 0.04	0 0.00	0 0.00	3 0.01
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎	◎	6 1.50	3 0.60	6 1.20	5 1.00	22 0.63
基幹定点	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.33
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.33
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(34件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	病原体の検出等	百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
腸管出血性大腸菌感染症	男性	10歳未満	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認	百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
	男性	70歳代		百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
	女性	50歳代		百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
	女性	50歳代		百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
	女性	50歳代		百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
A型肝炎	男性	40歳代	血清IgM抗体の検出	百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出等
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	50歳代	病原体の分離・同定、薬剤耐性の確認及び起因菌の判定	百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
急性脳炎	女性	10歳代	高熱及び中枢神経症状	百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
後天性免疫不全症候群	男性	20歳代	血清抗体の検出等	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
百日咳	男性	10歳未満	病原体遺伝子の検出	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
百日咳	男性	10歳未満	病原体遺伝子の検出	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
百日咳	男性	10歳未満	抗体の検出	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
百日咳	男性	10歳代	病原体遺伝子の検出	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
百日咳	男性	10歳代	病原体遺伝子の検出	風しん	男性	20歳代	血清IgM抗体の検出
百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出	風しん	男性	20歳代	病原体遺伝子の検出等
百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出	風しん	男性	30歳代	病原体遺伝子の検出
百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出	風しん	男性	40歳代	病原体遺伝子の検出

*第32週は、結核1件(111)、腸管出血性大腸菌感染症4件(13)、A型肝炎1件(9件)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(10)急性脳炎1件(9件)、後天性免疫不全症候群1件(2)、百日咳21件(107)、風しん4件(14)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

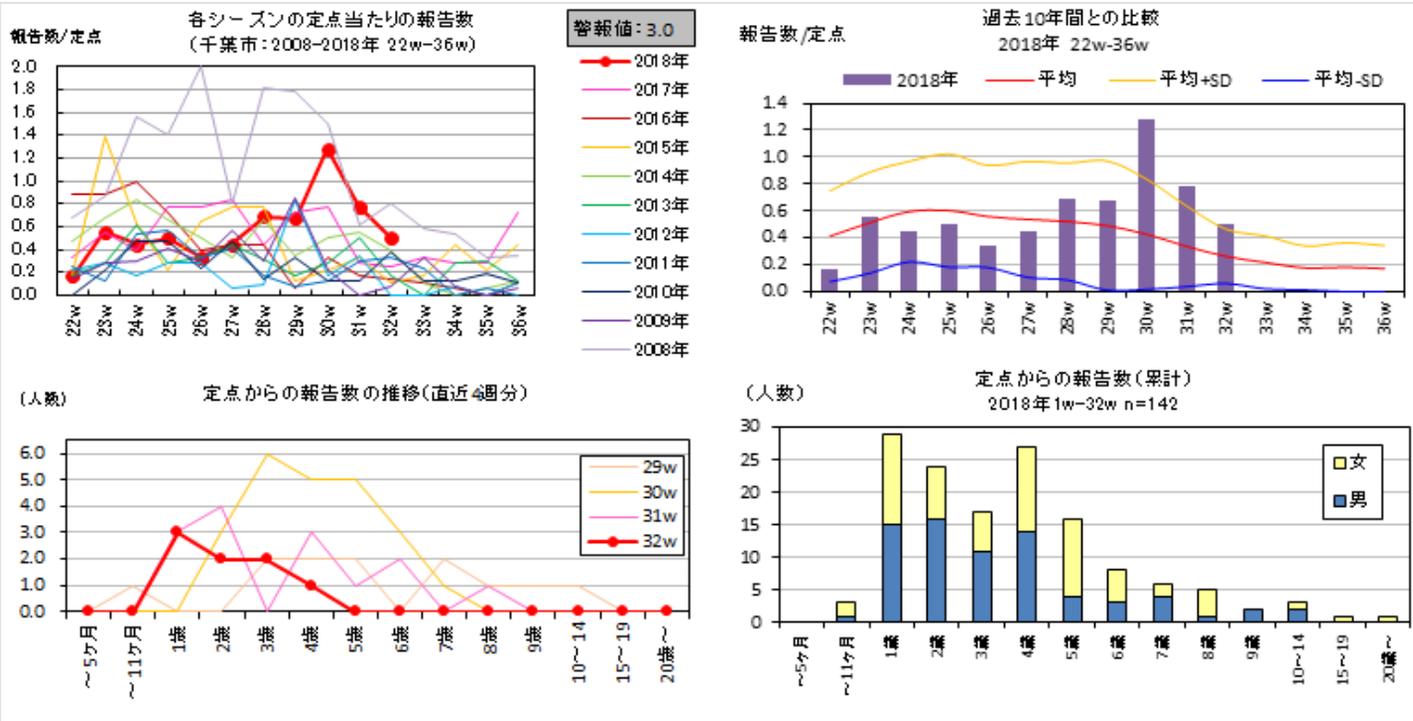
定点当たり報告数 第32週のコメント

＜咽頭結膜熱＞前週より減少し0.50となった。過去10年の同時期と比べると多い。
 ＜流行性角結膜炎＞前週より増加し1.50となった。過去10年の同時期と比べると最多。

トピック

＜咽頭結膜熱＞

全国レベルの第31週は、過去10年の同時期と比べると平均レベルとなっています。都道府県別では沖縄県、新潟県、千葉県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると、とても多くなっています。千葉市の第32週は前週より減少し、0.50となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(2/定点)で最多で、1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第1週から第32週までの累積報告数(n=142)によると、性別では男性が51.4%(73名)、女性が48.6%(69名)で、年齢階級別では1歳(20.4%:29名)、4歳(19.0%:27名)、2歳(16.9%:24名)の順で多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第31週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では埼玉県、沖縄県、熊本県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや少なめとなっています。千葉市の第32週は前週より増加し1.50となりました。過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は美浜区(3.0/定点)で最多で、同区の9歳、40歳代及び60歳代で発生報告がありました。2018年第1週から第32週までの累積報告数(n=81)によると、性別では男性が50.6%(41名)、女性が49.4%(40名)で、年齢階級別では40歳代(19.8%:16名)、30歳代(16.0%:13名)、50歳代(9.9%:8名)の順で多くなっています。

